

# おにごろ

歴史をとりいやどせ

演出・作曲・脚本・指揮  
二澤洋史原作  
野村たかあき

■あらすじ■

神流川に流された鬼の子

「おにごろ」。喜助と梅夫婦に  
大事に育てられるが、庄屋や村人は  
災いを恐れ、追い出そうとたくらむ。

おにごろの心の支えは、やさしい養い  
親と庄屋の娘、桃花だけ。

しかし、おにごろの優しさに触れ、村人たちもいつ

しか変わりはじめる。

そんなある年、神流川が水不足で百姓たちは大弱り。  
それを「おにごろのせいだ」という人も出てきた。喜助は、  
そんなうわさを打ち消し、上州に水を引こうと、対岸の  
武州の堀を壊してしまつ。

上州と武州の間に水取りの争いが起つり、多くの犠牲者が  
が出る。原因をつくった喜助と梅、おにごろは村を追放さ  
れることになった。おにごろは村人たちにエゴの醜さを説くが、  
聞き入れない。

その時、神流川が突然氾濫を起こす。おにごろは、その中に  
入つていき、大きな岩となつて両方の村に水を分ける。村人は、  
自分の身を犠牲にしたおにごろに感動し、村人たちは愛にめざめる。



2006年

**5月13日(土)・14日(日)**

■開演時間(開場は開演の30分前)

	13日(土)	14日(日)
PM2:00		○
PM6:30	○	

■入場料 3,000円[全自由席]



**スタッフ**

オーケストラ	田辺秀樹とおにごろアンサンブル
エレクトーン	伊藤佳苗・塚瀬万起子
ピアノ	小林直子
振付	佐藤ひろみ
美術・大道具	野村たかあき
照明音響	(有)高田舞台

おにごろ  
泉良平  
桃花  
中村恵理  
喜助  
田中誠  
梅  
内田もと海  
庄屋  
追分基  
伝平  
初谷敬史  
余川倫子  
村人  
新町歌劇団  
妖精メタモル  
フォーゼル

キャスト

新町文化ホール 〒370-1301 群馬県高崎市新町3190-1 TEL.0274-42-9133